

平成30年度 公益社団法人岐阜県森林公社事業計画書

総括事項

当公社は、森林整備法人として、分収造林契約地の適正な管理業務を計画的に実施しているところですが、既存の共同経営計画に加え、今年度策定する「森林経営計画（属人計画）」（平成30年度～平成34年度）に基づき、作業路を整備し利用間伐事業の拡大と収益増に努めます。

また、岐阜県が取り組んでいる「100年先の森林づくり」の視点に立って、森林資源の造成と併せて、土砂流出防止や水源かん養など森林の持つ公益的機能の維持増進を図ります。

平成29年度に策定した「経営改善計画」（平成29年度～平成33年度）については2年目となり、これに基づき、経営改善の確実な実行に向けて取り組みます。

白山林道事業については、新たに作成した「白山林道整備5箇年計画」（平成30年度～平成34年度）及び「白山白川郷ホワイトロード経営改善計画」（平成30年度～平成34年度）に取り組むことで利用者拡大を図ります。

林業労働力対策事業については、林業技術者の育成を図る支援事業を進めるとともに、林業就業希望者に対し相談から就業までを直接行う「森のジョブステーションぎふ」を開設し、林業就業支援の体制を強化して林業労働力の確保に取り組みます。

1 森林環境整備事業

（1）分収造林事業

ア 計画的な施業の実施

「第6期分収林計画」に基づいて、合理的な路網整備や効率的、計画的な間伐、木材生産を行うため、公社属人単独の経営計画及び周辺の民有林と共同による公募型プロポーザル方式（属地計画）による施業を進めます。

イ 事業の適正実施

事業の実施については、森林整備区分を基本に事業内容や箇所を精査するとともに、有利な助成制度を積極的に活用します。

また、事業の発注は、競争の原理を取り入れ、契約の透明性を確保します。

ウ 長伐期施業への転換

森林の持つ公益的機能の継続的な発揮や森林資源を有効活用するため、長伐期施業への転換について引き続き取り組みます。

なお、契約満了が迫っている契約地については重点的に取り組みます。

契約期間の延長をしないと判断した契約地については、立木の処分を検討し契約者と協議を進めます。

全契約件数	契約変更済件数	平成30年度計画件数
1,253件 (平成30年1月末現在)	1,101件 (平成30年1月末現在)	36件

エ 分収割合の変更

分収割合の変更は、公社の経営健全化のために非常に重要な取り組みであり、平成30年度は取り組み強化期間の最終年でもあり、関係機関の協力も得ながら一層の推進を図ります。

(2) 家族ぐるみの森林事業

昭和63年度より美濃市極楽寺地内で造成中の「家族ぐるみの森」については、各オーナー自身により森林に必要な整備を行うよう情報提供及び指導を行います。

(3) 県営林等整備事業

岐阜県からの委託を受け、県営林について巡視等の管理のほか、森林整備事業を行います。

森林環境整備事業 事業計画一覧表

事業区分	平成29年度 (補正後)	平成30年度	
	事業量	事業量	事業費
分収造林事業			397,841千円
保育費	453.99ha	1,139.98ha	289,353千円
除伐	0ha	78.97ha	17,217千円
枝打(1回目)	2.91ha	24.50ha	5,906千円
枝打(2回目)	14.00ha	48.07ha	13,748千円
保育間伐	211.43ha	392.68ha	80,500千円
利用間伐	225.65ha	429.84ha	156,893千円
胸高直径22cm未満	23.99ha	35.47ha	12,947千円
胸高直径22cm以上	201.66ha	394.37ha	143,946千円
クマ剥ぎ防除	0ha	165.92ha	15,089千円
作業路費	21,256m	37,130m	88,960千円
作業路開設	13,022m	14,530m	61,840千円
作業路補修	8,234m	22,600m	27,120千円
現況調査費	50箇所	70箇所	19,528千円
分収林契約適正化事業	36件	36件	8,800千円
家族ぐるみの森林造成事業	3.00ha	3.00ha	210千円
県営林等整備事業	101箇所 5,453ha	94箇所 4,624ha	31,000千円
計			437,851千円

2 白山林道管理事業

平成29年度は「開通40周年」及び「白山開山1300年」の記念の年であったことから、開通前より多方面でチラシの配布やメディア等へ広報宣伝を行いました。前年度より供用期間が5日少ないことに加え、7月の大雨や10月の二度にわたる台風による通行規制が週末・祝日と重なり、年間利用台数は前年比3.6%減の2,200台少ない59,034台となりました。

本年度は、チラシ、ポスターの配布の他、公社ホームページでの情報更新をリアルタイムに提供し、SNSを活用した新たな広報活動を行います。また、改めて地元へ広報宣伝を行い、住民から観光客へ伝達(口コミ)による利用者拡大も目指します。

施設の維持管理等については、利用者の安全を確保するため法面改良工事やガードケーブルの更新を行うほか、管理事務所の修繕を行います。

白山林道管理事業 事業計画一覧表 (利用台数：両県、利用料収入：岐阜県配分のみ)

区 分	平成29年度(補正後)	平成30年度	備 考
	内 容	内 容	
利用台数等	利用台数 59,034 台 利用料収入 46,711千円	利用見込み台数 66,000 台 利用料収入見込み 48,378千円	配分率42.56% (H27より固定)
利便性対策	愛称変更事業 45,800千円 道路情報版(電光掲示式) 三方岩駐車場歩道 バリアフリー化工事 料金所改築等	維持補修事業 89,219千円 管理事務所修繕工事 ガードケーブル更新工事 隧道点検 路側擁壁工事	
管理対策	維持補修工事 44,000千円 除雪、舗装、安全施設工事 他	除雪、舗装、安全施設工事他	
安全性対策	県単改良事業 42,000千円 法面保護工 948 m ²	県単改良事業 42,000千円 法面保護工 850 m ²	

3 林業労働力対策事業

林業労働力の確保及び育成を図るため、担い手の確保から育成・キャリアアップまでを総合的に取り組みます。

具体的には、

- ・ 平成30年度から、新たに「森のジョブステーションぎふ」を開設し、林業の無料職業紹介事業を実施するための許可を受けて、求人者と求職者との間における雇用関係の成立の斡旋を行うとともに、求職者に対して、就業相談の対応、助言を行います。
- ・ 林業事業体に対して、雇用管理改善のための相談対応・指導、情報提供を行います。
- ・ 新規林業就業希望者に林業就業を支援する基礎的な講習を行います。
- ・ 「緑の青年就業準備給付金事業」により、林業へ就業しようとして一定のカリキュラムによる教育を受ける者に対し給付金を支給します。
- ・ 林業事業体に対して、就業準備、労働環境整備、経営基盤強化のための支援を行います。
- ・ 森林技術者のキャリアに応じた研修、架線作業主任者の養成講習など各種研修を行います。
- ・ 新規の林業就業者に対して、技術研修や新規就業の準備に必要な資金の貸し付けを行います。